

能登ワイン化粧品 完成

能美の企業 北陸三県で27日発売

世界農業遺産「能登の里山里海」で育まれた「能登ワイン」から基礎化粧品が完成した。能美市のベンチャー企業が、ワインの製造工程で廃棄される「澱液」に豊富な美容成分を生かして開発した。27日から北陸三県のみならず、エステサロン向けに販売し、北陸新幹線開業の追い風に乗り、全国の商品に育てたい考えだ。

基礎化粧品は、スペイン産。語で「ブドウ畑」を意味する「ラヴィーニャ(Laviniña)」と「美女」を組み合わせた「Lavinio(ラヴィーニョ)」のブランド名で売り出す。能登の里山里海が育んだワインの恵みで、女性をきれいにしたくなる思いを込めた。

ラヴィーニョ



「能登ワイン」から作られた基礎化粧品

能美市の「いしかわフロ」に本社を置く「ラヴィアラボ」は、TOWAKOメディカ

能登尽くしの 弁当など9点

「能登の恵みフェア」は、能登の食材を生産者を前面に打ち出した弁当など9点を開発し、14、27日に北陸三県の368店で販売する。県との連携協定の一環で、「能登の恵みフェア」と銘打ち、能登豚や能登大納言など世界農業遺産の地が育んだ食と人の魅力をアピールする。



サークルKサンクスがフェア

パッケージに生産者の顔

「能登米のデミシチュー(はんや)」といしると味噌風味のまぜそば、「能登大納言の塩あんホイップサンド」など9品いずれも、パッケージに目立つ形で食材を記し、生産者の顔写真、メッセージも入れた。

能登の食材、人に焦点を当てた商品展開は初めてで、同社は能登の自然の恵みを後世に継承する一助とする。

能登の食材を使った「能登の恵み」シリーズ
輪島市の農産行政センター

TCMCは、これまで国内の大手化粧品メーカー向けに、山梨県産ワインの澱液(デンプン)が小さじわやシミの気になる30代後半から50代までの女性を意識し、クレンジング、フェイスウオッシング、ローション、スプレー、クリームなどの4種類の商品化した。価格は税別5200円〜9500円で、今後も商品群を増やす予定である。

県産業創出支援機構も開発を支援した。

20日には「ラヴィーニョ」のお披露目を兼ねた新商品紹介セミナーを金沢市の金沢東急ホテルで開く。

「能登の恵み」シリーズは、29日開幕の花嫁のれん展を紹介する。本日でキャラバン



29日開幕の花嫁のれん展を紹介

本日でキャラバン

29日に七尾市一本杉通りで行われる「第12回花嫁のれん展(本社後援)」のキャラバンは13日、北國新聞社

を訪れ、商家や民家を彩る花嫁のれん約170枚の魅力を紹介する。27日、能登自動車道七尾水見道路の開通を受け、今回は水見市観光協会の女性会も花嫁のれんを初出展する。初日は花嫁道中が行われる。

シャトルバス利用で茶碗まつり来場を運営委、本社訪れ

5月3〜5日に能美市九谷陶芸村特設会場で開催される第107回九谷茶碗まつり



九谷茶碗まつり

県国際交流員の辞令交付は13日、県庁で行われ、中国江西省出身の郎叙さん(30)が普赤清幸観光戦略推進部長から辞令を受けた。

県庁

郎叙さんに辞令交付



7月に県立音楽堂で公演

7月23日に県立音楽堂で行われる「松竹大歌舞伎」(一般財団法人県芸術文化協会、北國新聞社共催)の制作発表は13日、東京・銀座のコートヤード・マリオ

「上方の芸楽しんで」は、人を殺してしまつた相撲取りの濡髪長五郎を逃がす家族の心情を描いた物語で、鷹治郎さんは長五郎を追う南与兵衛こと、後の南方十次兵衛を演じる。長五郎は尾上松緑さんが演じる。襲名披露の「口上」には、鷹治郎さんの父、坂

公演は昼の部が午後0時半、夜の部が同5時に開催。1等席6千円、2等席5千円、栈敷席(4人まで)2万円、大向う2千円となる。チケットは23日から販売する。問い合わせは、県立音楽堂チケットボックス076(232)8632まで。



牛に乗った袈裟かけの坊さん

白山の「雪形」くっきり

加賀市中央字吉郎雪の科学館前館長の神田健三同館友の会長(66)が12日、同市小菅波町から、山肌の残雪が特定の形に見える白山の「雪形」を写真に収めた。神田さんによると、今年の雪形は、例年より2週間ほど早い出現となった。

神田さんは「牛に乗った袈裟かけの坊さん」を撮影した。神田さんによると、白山の雪形は約10種類あり、加賀市内からはサルとタバコの葉の形をした「猿たばこ」も見ることができるといっている。

地方社会

年度から毎年行われ、小4は国語と算数、小6は社会、中3は社会と英語を受け、全国学力テストでは国語と算数・数学、理科が実施され、基礎学力調査と合わせて、小6は主要4教科、中3は主要5教科全てが対象となる。

生活習慣などを尋ねる質問紙調査も小中学生と教員向けに行う。

県国際交流員の辞令交付は13日、県庁で行われ、中国江西省出身の郎叙さん(30)が普赤清幸観光戦略推進部長から辞令を受けた。

郎叙さんは「石川を訪れる中国の人に、石川の魅力や文化を伝える」と意気込みを語った。任期は1年間で、県国際交流協会に勤務し、翻訳や語学指導に取り組み、イン・ハー・シューズ」